

長野県高齢者生活協同組合

かがやき ニュース

No.100 特大号
(2013年5・6月号)

○本部・北信地域センター

長野県長野市南長池761-3

(本部) TEL:026-263-2386

(北信) TEL:026-217-3601

○中信地域センター

松本市本庄2-3-18

TEL:0263-31-8200

○東信地域センター

佐久市下越612-1

TEL:0267-78-5070

○南信地域センター

飯田市知久町4丁目1203-2

高田ビル2階

TEL:0265-23-1109

皆さん、ありがとうございます。
100号を迎えました。

夢 21 長野県高齢者協同組合ニュース 若い人 大歓迎 No. 1 1996年 3月24日 【事務局】 〒381 長野市吉田5-12-10 長野中高年雇用福祉事業団 内 電話 026(263)2338 FAX (263) 2360

長野県高齢者協同組合(仮称)設立総会



「長野県高齢者協同組合」は三月二十四日、長野バスターミナル会館で設立総会を開催。若月俊一佐久総合病院総長の記念講演「高齢者の協同で、輝く人生を」を聞いたあと、事業計画、予算、規約などを承認。若月俊一理事長ら二十四名の理事、監事を選出。さっそく事業計画の実施へ、力強く発足しました。

設立総会で記念講演をする若月俊一総長

「長野県高齢者協同組合」力強く発足

「福祉」「仕事」「生きがい」……さあ事業開始

三月十八日の参

皆さんに支えられ、「かがやきニュース」が100号を迎えることができました。設立してからこの17年間に様々な事業活動、組合員活動を支えていただいた、組合員・地域の方々に感謝致します。(上の新聞は第1号の「かがやきニュース」ー長野県高齢者生協設立総会風景)

100号座談会

1996年3月に長野県高齢者生協が発足してから17年が経ち、今回ニュースが100号を迎えました。これまでニュース作成・編集を担当してこられたお二人に高齢者生協やニュースの歴史を座談会で振り返ってもらいました。

(コーディネーター…
依田発夫副理事長)

プロフィール

安井雄さん…信濃毎日新聞社に入社し、事業局長で定年を迎える。長野県カルチャーセンター取締役を経て、長野県高齢者生協の設立に参加し常任理事(広報・介護資格講座担当)・専務・副理事長を歴任。設立当初に第1号のかがやきニュースを立ち上げる。

東誠子さん…フリーのフォトジャーナリストとして活動し、マスコミ誌にレポート等を発表。高齢者生協にて理事(広報担当)として安井さんの後を引き継ぎ、かがやきニュースの編集・作成や、戦前、戦中、戦後を生きた信州人の聞き書き「私からの伝言」の編集・作成に携わっている。

依田 …今号で「かがやきニュース」が100号を迎えることになりましたが、今どのような感想を。

安井さん…今日は「かがやきニュース」の第1号を持つてきましたが、1号と最新号の99号を比べると、色がカラフルになり、沢山の事業が増え、スタート当初からは想像もつかないような到達点に来ていると思いましたね。それから1号当初は今のうちに各ご自宅へ郵送をしておりました。できたニュースを配れる範囲で配布していましたから、それを考えると「すごい」の一言です。

東さん…私は自分で作っている時は、このニュースが100号になるとは思いもしないで作っていたし、今振り返ってみると、作成している時には気づかなかった変化がこんなにもあったんだと改めて思いました。

依田 …創刊した当初の高齢者生協の事業活動や思い出などを。

安井さん…1995年に三重県、沖縄県、愛知県、福岡県と次々に高齢者生協が設立され、それに続けと長野県高齢者生協が1996年に設立することになり、高齢者自

らが高齢者対策に向かうということとで、県内外のマスコミや県内の協同組合の皆さんに注目と支援をいただきました。私は現在の小澤副理事長に頼まれて、お手伝いのつもりで立ち上げから参加して、広報・介護資格講座の担当でしたが、とにかく何でもやりました。そして最初は西尾張部のギンギ音のするボロアパートから始め、大岡村の生ごみ利用の養鶏場を作るため、ボランティアも参加して建物も手作りで、3,000羽の養鶏をみんなの力で一つにやり遂げたことが、最初の山場であり、みんなが参加する場づくり、生きる喜びを感じた場となりました。

また西尾張部のボロアパートから現在の南長池に移った時には「バンザイ」でやっと高齢者生協が自

立できたという思いがしましたよ。
東さん…でも私はあの西尾張部のアパートが素晴らしいと思ったわ。最初は何もない所から、一からのスタートで、箱モノがあつて始めたわけではなく、お金もゼロから始めたその象徴があのアパートだったと思うんですね。

私が高齢者生協に入るきっかけになったのは、その頃アメリカで盛んに活動が進んでいたAARPで、いよ日本でもAARPのような活動が出てきたのかと感じて、身を入れて楽しめるものを探して入ったんです。私はそれまでは、フリーの一匹狼で仕事をしてきたので、組織的な動きをしてきたことがなかったんです。だから自分が高齢者生協に入って何ができるのか、入ってからは分からないだけでしたね。なので、高齢者生協とはなんぞやということを知るために、自分ができていることを探して、安井さんが熱心に作られていたニュースをお手伝いできればと思ったんです。とても個人的な理由でニュースに加わったように思います。(※AARP注釈参照)



長野市西尾張部にある高齢者生協が初めて事務所を構えたアパート



担当時代の思いを語る東さん



第1号ニュースを持つ安井さん

依田 ..それぞれ担当期間中に印象に残る記事や、紙面づくりで頭を悩ませた事などがありましたら。

安井さん ..やはり私は「かがやきニュース」第1号ですね。設立総会修了直前に参加者全員に記念に配布するために、原稿はある程度事前に作成しておいて、写真を当日撮ったものをすぐ原稿に入れて、近くのコンビニで300枚コピーしました。参加された皆さんにも今行っていた総会が記事になって配られるということで、感動してもらいました。



お二人の話を聴く依田副理事長

東さん

..私は常に常駐している職員ではなかったので、記事になりそうな話題を集めることに苦労しました。最初は情報収集は専ら理事会で、上がってくる議題の中から記事になりそうな話題を探していました。その後は、沢山の人に「かがやきニュース」に関わってもらいたかったので、各センターで通信員さんを置き、そこから原稿が上がってくる形になりましたが、編集者としてこの話題をこういった視点で書いてもらいたいという思いを相手に伝えることが難しかったですね。紙面に掲載するのに、読者にとつてはこういった切り口で書いてもらった方が面白いのではないかなと思うことを、どこまで伝えられるのが課題でした。

依田

..これからの長野県高齢者生協や「かがやきニュース」に期待したいことがありましたら。

東さん

..これから高齢者生協が何をしていくのか、そのためには担い手が重要になってくると思います。まだ設立当初の第1世代が現役で頑張っていますが、後に続く人をどういう風に仲間として作っていくのか、私が「かがやきニュース」を作成している時からそのことは頭から離れませんでしたね。高齢者生協を大きくしていくのはいいが、やっていく内容に魅力がなければ若い人から高齢者までが参加して協力をしてくれないと思います。みんなが参加できることをいい知恵を出し合つて、この活動を継続していけるようになれば良いと思います。

安井さん ..私は「平和な福祉社会を目指して」をスローガンに10年の記念に作成した「10年の歩み」に掲載しました。高齢福祉社会に向かっていくこれからにおいて、何を高齢者生協ができるのか、どういう役割を担っていけるのかを考えなければいけないと思います。私も東さんと同じで、ただ増やすのではな

く、職員と組合員さん、地域の皆さんと心を一つにしていきたいことで、参加型の高齢者生協が自然と浸透していくのではないかと思います。

依田 ..短い時間で語っていただきましたが、貴重な内容が組合員の皆さんにしっかりと伝わればと思います。

本日はありがとうございました。

AARP—1958年に、退職したアメリカの元女性教師によつて、「高齢者の独立・威厳の促進、高齢者の生活の質の向上、高齢者が奉仕されるのではなく奉仕すべく生きることの助長」を基本理念として設立された。50歳以上ならだれでも会員になれ、年会費12,5ドルで、旅行や保険などの様々な割引が受けられ、年会費が安い上にサービスが充実している。また会員には会誌やニュースレターなどを定期的に発行している。現在会員4,000万人を有する全米最大のNPO(非営利団体)。AARPはアメリカ議会に強い影響力を持ち、これまでの活動で65歳以上者を対象とする公的健康保険メディケアの創設や、定年制を廃止した年齢差別禁止法の制定に大きな影響を与えてきた。

100号記念一組合員さんの声

今回100号にあたり、組合員の皆さんに日頃の組合員倶楽部活動や、100号に寄せての思いを投稿いただきましたので、ご紹介します。

おもしろ倶楽部の活動の中で

あの頃、私は菜の花栽培とその裏作でそば栽培をグループで始めていて、出来たそば粉でお蕎麦が打てるというな

と思っていた時、「蕎麦打ちを教えてくれるって」と誘われて出かけたお宅が横山孝子さんのお宅でした。先生がなんと！一緒に菜花グループ仲間の人だったのもうびっくり、早速私もおもしろ倶楽部の仲間にならせて頂

いただき、高齢協にも入会しました。速いものでもう9年目位になるでしょうか。

おもしろ倶楽部は、その名の如く実に多彩で面白く、楽しく、又心

地よいものでした。おもしろ倶楽部の動向は「かがやきニュース」でその都度掲載されましたのでニュースが届くのも楽しみです。

その間、様々な人との出会いがあり、仲間も増えて会員の要求もどんどん広がり新たな可能性も無限に広がりそうです。三人寄れば文殊の知恵？、十人十色？とよく言われますが大勢の人が集まるとそれぞれの魅力が引き出されるのですね。

私は仲間にも自分にも常に感心しきりです。例えば「ひなまつり手遊び展」何もしてこなかったのに何かを作っている(下手で取り留めのなものですが)自分に驚いたりしています。針を持った事もないといっていた人が、素晴らしい作品を披露しています。そうさせるものって何でしょう、楽しみながら運動体としての高齢協の理念が広がっていくのかなと思っています。

今の関心事は、「脳イキイキ学習塾」の授業で前島先生の講座、エンデングノート、死の儀式を考えるです。住居と同じ市内の実家にお墓はありますが、自分のお墓はありません。

用意する必要はないと感じていたときに選択肢があることを学習しました。佐久の地域でも利用可能な事業が設立すればと切望しています。エンデングノートに書き込めるように… (東信 佐藤千里さん)



もう“独りぼっち”じゃない

妻が74年の人生を閉じて早や4年が過ぎた。亡くなった直後は葬儀等であわだしく泣く暇もなかったが、諸事が一段落すると急に悲しみと辛さが一挙に押し寄せて来た。

夜半、あたりが静寂になると妻と暮らした49年間の様々な想いが蘇り、堪らなく起き出して朝まであれこれ考えて、眠れない日が続いた。特に晩年の5年間は、アルツハイマー型認知症と診断され、認知症特有の諸症状が現われ、徘徊は10数回を数えてその都度車で探し回ったり、警察に届け出たりしたこと等頭の中を駆けめぐった。

今でも夜になると隣に妻が寝ているものと錯覚し、「母さん、今夜は冷えるなあ」「明日は母さんの好きな“うなぎ”でも食べに行くか」等と話しかけ、「はつと」我にかえることがある。

生涯の伴侶とした妻に先立たれた80過ぎの男の一人暮らし程、淋しく辛いものはない。

身近に話す相手がいない、妻がいた時は話し掛ければ直ちに心が通じあい反応し会話が成立するが、いなければそれは単なる独り言ではない。この齢になると友人知人も1人欠け2人欠け、あるいは存命でも体調不良の人が多く尋ねる訳にはいかない。それやこれやで益々孤立してしまう。そんな折、高齢者生協の会員にならないかとお誘いを受け、高齢協の何たるかも知らず半信半疑のまま加入し、高齢協主催の各種行事や会合に参加するうちに、高齢協の理念が“独りぼっちにならない、しない”であることに共鳴し以来積極的に組合活動に参加することとした。

参加することで新しい仲間が増え、もう“独りぼっち”じゃないぞ、所詮

人間は1人じゃ生きられないんだ。皆んなと支えあい助けあつて生きていくことが大事なんだと再認識することが出来ました。

天国の妻も“父さん仲間が沢山出来て良かったね、こちらへは未だ来なくていいから、そちらでももう少し頑張つてね”と笑顔で云つてくれたようでした。(中信 飯田聖さん)

ニュース100号に寄せて

私は17年前、長野県高齢者生協発足の時に組合に加入しました。

「かがやきニュース」が100号を迎えたことは17年間の活動の重みを感じ心よりお喜びを申し上げます。

当時私は訪問看護ステーションの管理者をしていましたので、南信に新しい風が吹くのだろうと楽しみに期待していました。ところが「かがやきニュース」を見るたびに長野、松本、上田地区に様々な活動が広がっているのに、南信はさっぱり音沙汰がありません。取り残されているようで、とても羨ましく思っていました。

この度ようやく南信の下條村に

「小規模多機能型居宅介護施設」が開設される運びになりました。この南信もすでに高齢者の立場に立つた民主的な介護事業を行っている所が沢山あります。私もこの地域で暮らし続けたいと願っている高齢者の1人です。先輩の介護事業者とお互いに学び合い、協力し合つて高齢者の住みやすい地域にきつとなつていくだろうと期待しています。微力ながら南信の長野県高齢者生協の活動を応援し、協力していきたいと思います。

(南信 今村洋子さん)



わくわくファッション倶楽部の活動から

今から5年程前になりますか、職員の中村玲子さんに声を掛けられて、横浜市内で開催された「高齢者生協全国大会」でのファッションショーに行きました。その時のカルチャーショックは今でも忘れられません。80歳、90歳の方々が、自分で和服

をリフォームしたドレスを着て、背をピンと張り、にこやかに誇らしく

舞台でターンする姿は本当に素敵でした。着替えをする楽屋では、腰が曲がついたり、杖をついたりしていた方がです。女性はやっぱりおしゃれをする事が元気の元なんだと実感したのです。それと和服をリフォームするという事が、私の気持ちに納得できる事でした。これを組合員さんと呼び掛けて「倶楽部にできれば・・・」という中村さんの思いが私にも乗り移りました。私も前々から叔母から頂いた着物を、コートやブラウス等にリフォームして愛用していたので、早速友達やヘルパーさん達に呼び掛けて倶楽部として立ち上げました。

現在会員は16名程になり、年に2〜3回程あちこちの舞台を踏んで来ています。昨年の10月に、長野市三輪にある「たわわ善光寺下」のたわわ祭では、利用者さんに出演していただき、その顔の輝きが忘れられません。人間としてその生を全うするまで、やはり輝きは持ち続けてほしい・・・としみじみ思いました。ファッション倶楽部に入会して下さい

る方をお待ちしています。元気に明るく年を重ねて行きませんか。

(北信 小山小雪さん)

100号おめでとう！ ます

「つくしの里通信」を野原ひろのペンネームでかかせていただいたのは、65〜74号だったと記憶しています。カラー印刷になる前、「つくしの里大豆島店」が発足する前でした。センター長に「写真じゃなくて、イラスト付きで」と言われ、恥をしのび、苦勞して毎月つたない文と略画を描き送っていました。それでもその中で、配色サービスの楽しみや思いがけない孤独死との出会いなど伝えたい出来事は沢山ありました。かがやきニュースを読んで、真心をこめてお弁当を届けている配食者の様子に感心して下さった方もいて、嬉しかった事もありました。

全国の労協連合会と高齢者生協連合会主催の「よい仕事コンテスト」で「つくしの里」が特別賞をもらった事がニュース74号に出ています。その号に「空模様」という見出しで

掲載していただいた通信が最後だったと思います。

編集者の東さんには、原稿を送るのが遅かったり、だらだらと書いてあったりお手数をおかけしました。「毎月書くのが大変で・・・」と電話したら、「大変だったらやめたら・・・」とおっしゃっていただき、肩の荷がおり、野原ひろは引退しました。

その後も配食サービスの仕事は続けています。悲喜こもごもの出来事があり、高齢者福祉が抱える問題は深刻です。高齢者生協の事業所がそれぞれに事業を拡大充実させているニュースを読みながら、もう少しだけ元気で、協力できるところでしていきたいと思っています。

(北信 轟博子さん)



100号記念に寄せて

隔月で送られる『ニュース』には一通り目を通します。もう百号記念になるんですね。毎号、限られたスペースに多様な記事が溢れ、読ませ

るための編集者の努力を感じます。体裁は一応カラー刷りではありませんが、その“手作り感”が特徴です。ややもすると、内容とは裏腹に華美に流れる傾向が多い出版物の中で、逆に“純朴さ”が魅力でもあります。

私は今の社会状況に相当な危機感を持っています。世の中は大変貌しました。何故にこうなってしまったのか？ 想起するに、あの「臨調行革路線」後に様々な企てが矢継ぎ早に打出され、更には「新自由主義」が貫徹するに至りました。この間に、まともな労働組合は差別・解体に追い込まれ、大半の労組は骨抜きにされました。それがまかり通って、あらゆる面で「分断化支配」が進み、事実と道理は陰に押しやられて社会は歪められました。

見て下さい！ パート労働者・非正規雇用の激増ぶりを。とりわけ若者たちの苦悩に思いを巡らした時、私は胸が掻きむしられる思いです。私たちは今、冷厳なる事態を見つめなければなりません。それは、資本・権力側の「分断化政策」が一応に成功しているという事実です。国

民間にある「逆さ恨み」を増幅・扇動・煽(けしか)け、それを最大限に活用して懐柔・分断し、ギスギスした管理社会を作り出し、全体を「市場原理主義・競争主義」に絡め取って行くという、極めて巧妙な手法です。

だがしかし、企業を後ろ盾とする資本・権力側の「カネとモノ」はグローバル化しても、人間は地域社会に根ざして生活しているという冷厳なる事実です。ですから、資本・権力側と対抗して懐柔・分断を克服するには、「地域に依拠した協同組合思想」の普及以外には有り得ません。本来的に民衆が持っている「結いの発想」を広げる大切さを強調したいのです。

こうした協同組合理念を背景に展開する『広報活動』は、本質把握がし難い情報過多の中で、“本物の情報”を提供することが重要です。それは量の問題ではありません。こういうことを意識し、愚直でも良いから地域に根ざして地道に発行する姿勢を堅持したいものです。

発刊百号を祝して、こんな言葉が浮かびました。それは、《太陽は夜

明けを待つて昇って来るのではない。太陽が昇るから夜が明けるのです！》という名言です。その太陽が高齢協であり、それを情宣するのが他ならぬ『かがやきニュース』です。

(東信 村山隆さん)

元気をふたたび！よろこびをもらって、与えて

私は20年以上、音楽療法に携わっていましたが、6年間ほど病気をしていたことができなくなりました。そんな時、高齢協から「脳いきいき・元気づくり講座」開催の案内があり、内容を見ると講座のひとつに「人生の終末の向き合い方、エンディングノートの活用」があり、これからの私達に一番大事な事を学べると思いきって受講の申し込みをしました。

講座の中の「おしゃべりタイム」という時間に受講生の皆さんと話を聞くと何人かの方がコーラスを行っていることを知りました。それなれば1回の講座の後でみんなで歌をうたつて、時には体操も取り入れることができたらいいなと思ひ、事務局

の方に相談したところ、快諾してもらえ3回目からみんなで歌って体を動かして……ところが、しばらく伴奏をする機会がなかったこともあり、練習を重ねて当日会場へ行くのですが、テンポが速くなったり、音が外れてしまったり……それでも皆さんに「歌えて楽しかった、良かったよ」と言われると私自身元気になるし、頑張ろうという気持ちになります。年になるとちよつとした一言で嬉しいものです。

また、講座で学んだことを毎日少しずつでも続けることが健康でいるためには必要だとつくづく感じました。今では風邪ひとつひかず、毎日欠かさない散歩も2,000歩であったのが半年で2,500歩になり、体調も良いのはそのためかもしれません。

外出したくても出来ない方々も参加できる良い方法があれば……と思います。組合の方では是非とも取り組んでいただき、私も参加して良い思い出を作るのと同時に皆さんに元気など何かを与えることができればと思います。少しのよろこびでももらえたり、与えたりして元

気に過ごしたいと思います。

(中信 市川禮子さん)

100号を迎えてあれこれ

1996年3月に設立されて、もう足かけ17年にもなります。ニュースも今号で100号を迎える事ができましたね。

ホームヘルパー養成講座を一つとっても、長野、松本、上田、飯田、など全県で開催、今も組合員として訪問介護員として頑張ってくれている仲間も多勢います。事業も沢山立ち上がり、エリアも広がっていますが、「独りぼっちにならない、しない。人と地域に役に立って、より元気になるう」をモットーに他の組合員の皆様と日々過ごしていけたらと思っています。

(北信 永井美子さん)

組合員の皆様、ありがとうございます。今後とも一緒に私どもの活動に支援、参加頂ければと思います。また投稿もお待ちしています。



理事会報告

第9回理事会報告(3月30日開催)

【協議・決定事項】

○2013年度の各地域センター事業・活動計画を承認した。

○第15回通常総代会は6月22日(土)

長野市豊野老人福祉センターで開始、交流会は隣接の公民館で行う。

○所在不明組合員の脱退手続きについて、規則とルールを決めた。

○車両・交通安全に関わる諸規定を承認した。

○高齢者生活協同組合とNPO法人を包括した名称は「長野県高齢者協同組合(長野県高齢協)」

第10回理事会報告(4月27日開催)

【協議・決定事項】

○理事の役割と任務を確認して、2013年度の役員報酬を決定した。

○組合員クラブ活動支援及び会議室使用についてルールを決めた。

○共同墓地建設を決定した。

○「憲法9条を守る県民過半数署名」に再度取り組み。

○災害等に備えて、各事業所に防災用品を配備する。(公共サービス事業所は除く)

【3月末組織・事業報告】

○組合員数 東信363 北信1884 中信634 南信126 全体で3019名

○出資金総額 9565万2千円

○事業高 生協法人4億6956万3384円 NPO法人 1億197万9592円

TOMORROW

「里山に暮らす」

ふきのとうのてんぷらを頬張る。このほろ苦さはたまらない。今さき帰り道で摘んできたのだ。山菜はみな「あく」(ミネラル分)が強い。蒔蓄というならば、ミネラル豊富な山菜は冬に眠っていた体を目覚めさせる効能があるのだそう。よもぎの新芽、タラの芽、山ウド、アケビのツル、こしあぶら、クコの葉、竹の子、山葡萄の新芽、蕨、ぜんまい……と山里はなんと豊かなのだろう！

街の中から山里へと嫁して数十年。——晴れた日には少しばかりの畑を耕し、さわやかな風を感じながら衣類や布団を干す。おひさまの匂いはたまらなく優しく元気をくれる。雨の日には本を読み、手仕事をする。畑で採れた野菜や豆、山の幸を食し、暗くなったら穏やかな眠りにつく。秋には山に入り、ツルを採り木の実を拾う。冬には野沢菜や沢庵を漬け、味噌を仕込む。——そんな暮らしを夢見ながら幾年月、今日もまた私はスケジュール帳片手に鼻歌を口遊みながら、喧噪の街へとひた走る。

日本高齢者生協連合会 トップセミナー

3月22日～23日に開催された日本高齢者生活協同組合連合会トップセミナーでは、「連合会の自立とあり方」について話し合われました。

まさに高齢者生協らしい「全員参加型野球の連合会」を目指しています。また、学習として聖徳大学生涯学習研究所の所長の福留強氏が『生涯学習と「年金プラス5万円」への道～創年時代・社会貢献のすめく』というテーマで講演をされました。興味深いお話でしたのでご紹介します。

○生涯教育と創年の活躍

時代の変化の中で、よりよく生きるためには「学び続けていく」必要があります。家庭教育、学校教育、職場、地域、社会教育などのすべてを生涯学習と位置づけます。

また、福留先生は講演の中で、自らを一度リセットし積極的な生き方を見出して地域に活かそうとする世代を「創年」と呼んでいます。お

およそ47～48歳より上の世代を想定しているようです。生涯教育で学び人間関係を構築してコミュニティを形成し、地域づくりの担い手になっていく。すでに学んだことを生かしての「年金プラス5万円」の仕事づくりの実践が各地で始まっています。



講演をされた
福留強さん

○「年金プラス5万円」に挑戦

全国的にみると生涯学習から仕事おこしにつなげている実践は各地で行われています。今、「コミュニティビジネス」が広まっていますが、「学習」から始まっている例が多くあります。「地産地消の拠点づくり」「創年のたまり場」「地域の店舗（空き店舗の活用）」「地域の特産品を加工し製品化する」などで、取り組みもうとする人たちの希望や地域の実情を踏まえて行われています。

具体的な事例として、①郷土料理を復活、②栽培したサツマイモで焼酎を造り販売、③起業の学習から発展、④地域おこしの事業、⑤たまり場づくり、⑥農産加工品、⑦ボランティア活動から企業化するなどが行われています。

鹿児島県始良市の取り組みは興味深いものです。一般の主婦が、市内の30軒の手作りの店を紹介するために「マップづくり」をして多くの方に紹介。これらの店を知っていたくために市郊外の体育館を使ってイベントを開催したところ、なんと1万人もの人が集まった。そして、そのイベントは毎年続いているのと、全国的取り組みを見ていると、生涯学習から年金＋5万円を実現することは可能なのだと思います。

○「創年」が頑張る！

福留先生の話で、課題としてあげられているのは、誰がどのように始めるかです。

活動が軌道に乗りうまく進んでいるところは、なぜかリーダーが女性であることが多いようです。男性がそれを下支えするという形で成功しています。「男性はやる気もあり

経験もあるのですが、形づくりから入ろうとします。（会の規約を作ることから始める、そのために多くの時間をかける）そうすると具体化が遅くなるので他の参加者は楽しくなく離れていってしまいます。それぞれの立場や特性を踏まえてその力を発揮できるようにしていくことが鍵だと言われています。

○組合員の皆さんも一緒に参加しましょう。

少しは自分を見直してみる余裕が出てきた創年期の皆さん、学ぶ機会は、行政が行う市民大学やシニア大学、公民館活動やカルチャースクールなど沢山あります。そして、学んだことの実践の場として高齢者生協で、自身の生きがいづくりにボランティア活動に、地域の活性化に活かしてみませんか。それらを通じて「年金プラス5万円」の仕事になつたら最高です。すべては学び、気づき、参加する、誰かや地域のためになることから始まります。一緒に始めてみませんか！
「じゃあいつやる？」
「今でしょ！」

（内田信幸）

たわわ日よりー快晴なり ⑭



「お花見三昧」

桜の季節がやってきました。今年は例年に比べ、開花が早かったようです。

毎年この時期がくると、「城山公園の桜はいつ咲くか？」と送迎や外出の度にチェックします。「たわわ」から車で出掛けられるお花見ポイントは、城山公園、長野高校、雲上殿、往生寺公園・・・とたくさんあり、曜日ごとに利用者さんも違うので、天気の良いこの季節はお花見三昧の日々なのです。

時にはおやつを持って出掛けます。お団子ではなかったけれど、桜を見ながら食べるおやつは、いつもと一味違ったのではないのでしょうか。

五分咲きから満開、桜吹雪になるまで、いろいろな桜を満喫できたお花見となりました。

(鈴木亜矢子)



「アベノミクスに惑わされるな その陰にあるもの」

安倍首相が政権発足後間もなく打ち出した経済「再生」策としての「アベノミクス」は、円安の進行や株価の上昇をもたらし、財界を中心に歓迎され、国民の期待感も上昇しつつあります。

アベノミクスは一見成功しつつあるように見えますが果たしてそうでしょうか。日銀と一体となつて進めている大胆な金融緩和策(アベノミクスの柱)は实体经济をともなわない不安定なものです。瞬間風速的な効果といえます。

いっぽうで支持率の上昇を背景に極めて危険な、反国民的な政策が着々と進められていることに私たちは注意をはらい、国民生活擁護の大運動をくり広げる必要があります。

まず高齢者の生活に密接関係する社会保障政策のなかで社会保障制度改革推進法は、「自助・自立」を社会保障の基本的仕組みにする“自己責任”原則や国の公的責任と財政負担を大後退させる方向を鮮明にしています。年金、医療、介護、子育て、生活保護などあらゆる制度改悪を対象にし、この“英断”につけてんで財界の提言案には風邪の窓口7割負担、軽度のデイサービスの全額自己負担などんでもない要求がはじめています。民間保険を広げ、社会保障を儲けの市場にしようとする意図は明白です。安倍政権下であるからこそその妄動です。次に安倍政権のもつ復古的保守主義の性格を如実に表してきたのが憲法の「改正」です。「改正」の狙いは9条で、2項の戦力不保持を削除して国防軍を保持することに執着する安倍首相は、96条の改定手続きの各議院の3分の2以上の賛成要件を2分の1にし、ハードルを下げることを強行しようとしています。抜き差しならないところにまで事態はきています。7月の参院選はとても重要です。国の方向を誤らせない国民一人一人の厳正な判断が求められます。

(依田)

○前号のクロスワード正解 「ヒナマツリ」 でした。

正解者:飯田聖さん、生島澄江さん、上杉純一さん、牛山良子さん、
木内とめ子さん、古岩井かおるさん、関次郎さん、滝澤博子さん、
竹花初雄さん、谷口令子さん、藤井都さん、松本隆雄さん、
おめでとうございます。今回は多数のご応募ありがとうございます。(抽選により、
上記正解者の中から赤字の3名の方にクオカード500円を差し上げます。)



前号答え合わせ

①	②	③		④	⑤	⑥
A				E		
⑦				⑧		
⑨			⑩ C			
			F			
	⑪	⑫				
	H					
⑬		⑭			⑮	
					G	
⑯	⑰			⑱		⑲
D						
⑳			㉑			
				B		

マ	リ	ア		ハ	シ	カ
ン		ニ	ヒ	ル		イ
マ	イ	キ	ヨ		オ	リ
ク	チ		ウ	シ	ミ	ツ
	ゲ	ツ	シ	ヨ	ク	
ト	ン	ボ		テ	ジ	ナ
サ		ミ	カ	ン		イ

○クロスワードクイズ今号の問題

下のヒントから□に文字を入れて、A～Hまでのアルファベットを順番に並べ替えて、言葉を完成させてください。正解者の中から抽選で3名の方にクオカード500円をプレゼントします。

☆答え、氏名、住所、日常の出来事やニュースのご意見・感想などを記入して、郵便、FAX又はメールにてご応募ください。お待ちしております。

宛先: 〒381-0024 長野県長野市南長池761-3 長野県高齢者生活協同組合「クロスワード」係

FAX 026-263-2385 メール info@nagano-koureikyo.jp

締切:6月14日(金)必着

〈タテのカギ〉

- ①ジアスターゼ、ペプシンなど消化○○○
- ②人の説をそのまま自説のように述べること
- ③コーヒーをこぼしてシャツに○○をつけた
- ④普通では考えられないような変わったこと。四字熟語
- ⑤事務用品などの購入・供給を扱う○○○係
- ⑥当たりくじを引き寄せる運
- ⑩発育・生殖に重要な関係ある○○○垂体
- ⑫島崎藤村の長編歴史小説「○○○前」
- ⑬自分の家 ⑮爪印
- ⑰田舎で人家の集まっている地域 ⑲物の値打ち

〈ヨコのカギ〉

- ①マーチ、トルコ○○○○○○○○
- ⑦柔道で投げられた時、怪我を防ぐために倒れる技
- ⑧卒業式などで、送り出す側のはなむけの言葉
- ⑨仏の道に入った人
- ⑩自分から他に働きかけること
- ⑪盆と正月が一緒に来たと同類語。○○○○に花
- ⑬世間の事がよくわからない人。○○○○う。
- ⑮神仏や死者の霊に物をささげること
- ⑰外国人観光客を増やして○○○を獲得する
- ⑲昔、大○○省、今、財務省 ⑲巻き上げ機械

読者からの投稿

○12月の終わりに竹細工用に竹山の竹を20本切り出しました。直径8cmを超える太い竹は、長さが8mもあり、軽トラにつけるのがやっと。シヨイコシゴの縁や力竹用の太い竹を5本切り、後はヒゴ用に直径5cm位の細目のものを採して切りました。2カ月でシヨイコシゴ2ヶ、手カゴ2ヶ、ブルーベリー採取用の小カゴ5ヶを妻と一緒に作りました。庭の池の水が解け、畑の雪も消えたので、竹細工をやめ、そろそろ畑仕事につきます。

(Kさん)

○かがやきニュースは文字が大きくて年寄りに優しい配慮が嬉しい。終活座談会各地区で実施してほしい。高齢になると「死」と向き合うことに不安を感じる。皆がどのように感じているか「生」の声を聞きたい。(Iさん)

○親子5名の内4名が花粉症。「俺だけだなぁ」と鼻タカダカ。同じ『ハナ』でもこちらは「ゴーゴーガーガー」音公害。春はやつぱり明るく、楽しく、ウキウキの『ハナ』を歓迎したいものです。(Tさん)

○いこの家さくら祭と認知症の講座には、出席したいと思います。食べ歩き

もいいですね。友と出かけようと思います。(Kさん)

○少子化対策と言われる中、保育所に入れなかつた子のママ達が市役所に要請されるのがテレビのニュースで放映されています。高齢人口の増加がますます進む今、子どもを大切にしなければならぬのに、何ということでしょう。産みたくても、産めないこの現状、腹だたいこと、この上なしですね。(Tさん)

○体調不良や色々なことが重なって、1カ月程ウォーキングをさぼってしまいました。久しぶりに歩いたら、足がパンパンです。早く元に戻さないと、ガンバルゾ！

(Mさん)

○友人が「北信フスタもんぶら」初めての参加。写真に私が写っているのを見て、この新聞を初めて読みました。とても素敵な記事が沢山載っていて、心がホッリ致しました。

特に「終活」の記事は非常に勉強になりました。自分の親が亡くなり、正直慌ただしい日を過ごしました。ゆつくりと両親とお別れがしたかったです。(H・Tさん)



○本部の場所はどの辺でしょう？

公共の乗り物ではどう行けばよいでしょうか。ニュースに載せて下さい。
ご要望にお応えして、本部の地図を掲載します。

ケアマネジャーコラム

「利用者さんの思いに添う支援とは」

たんぽぽケアマネジャー 日高笑理子

お二人暮らしのAさんご夫妻。

数年前よりご主人(94歳)の歩行状態が不安定になり、県外に住むお子さんたちの支援を受けながら、奥様(91歳)が一人で介護をされてきました。

夜間1時間おきのトイレも奥さんが付き添って行かれていたのですが、共倒れになってしまう事が増え、ご本人ご家族はオムツで排泄することを選択されました。

「住み慣れた自宅で最期まで二人で生活したい」その思いからの涙ながらの選択でした。

介護保険法には「尊厳のある暮らし」が基本的理念として明記されています。ケアマネとして働いてまだ半年ですが、様々な制約の中で尊厳を守りきれない現実には苦しむ場面も少なからずあります。

利用者さんの生活歴や生活環境、価値観、出来る能力は人それぞれで、介護度のみで一律に表現できるものではなく、またケアマネや関係者の価値観のみで既存の介護サービスの中から「これが必要」と当てはめられるものでもありません。

ご本人にとって本当に必要な支援は何か…一人一人の思いや生活スタイルを尊重できるような介護保険制度であってほしいと思います。(次号に続く)

かがやきインフォメーション



東信 佐久病院 「病院祭」

佐久病院の病院祭に高齢者生協の活動をパネル展示し、交流します。ぜひ遊びにいらしてください。

日 程:5月18日(土)、19日(日) 会場:厚生連佐久病院

東信 「第1回脳イキイキ楽習塾」 参加者募集

5月21日～全11回の「脳イキイキ楽習塾」が始まります。体を動かす体操・ウォーキング～認知症サポーター講座、映画鑑賞など幅広く年間で楽しめる講座です。どなたでもご参加いただけます。

日 程:5月21日(火)13:00～16:00 (毎月第3火曜日) 参加費:月1回500円

会 場:長野県高齢者生協東信センターかがやき広場(佐久市臼田下越)

申込み:0267-78-5070 (東信センターかがやき広場)

北信 「プラネタリウムを見に行こう」 参加者募集

春も訪れ暖かくなってきました。夜の星もきれいに見える今日この頃ですが、皆さんでプラネタリウムを鑑賞に行きませんか?どなたでもご参加いただけます。

日 程:5月26日(日)12:45現地集合(長野市立博物館玄関集合ー長野市小島田町 八幡原史跡公園)

参加費:大人250円、高校生120円、小中学生50円(参加者が20人以上になった場合は割引になります。)

申込み:026-263-2386 (長野県高齢者生協 担当:鈴木まゆ) 5月23日申込締切

北信 「食べ歩きの家」 参加者募集

今回の食べ歩きの家は新緑に囲まれた高台のレストラン「アマダンスカイ」に行きます。大勢の皆様の参加をお待ちしています。

日 程:5月28日(火)12:00現地集合 (アマダンスカイー長野市 旧メルパルク跡)

料 金:気軽に楽しめるコース 1,700円(前菜・スープ・主菜〈お魚orお肉〉・デザート・パン)

申込み:026-263-2383 (長野県高齢者生協 担当:高橋・福島) 5月20日申込締切

中信・北信 「ワーカーズコープかがやき担い手」 募集

ワーカーズコープかがやき(長野市、松本市)では、日常生活での困りごとを支援する仕事を担っていた方々を募集しています。(生活支援事業)

・仕事内容一草取り、剪定、雪かきなど ・時給800円を基本として、15分刻みで精算。

(松本地域については、松本市内の方を募集)

※ご希望の方は、就労条件等がありますので、各地域のワーカーズコープかがやきの担当者までお問い合わせください。

北信(長野市):026-263-2386〈担当 根本〉

中信(松本市):0263-31-8200〈担当 風間〉